慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	小平市立図書館久下文庫和漢書目録
Sub Title	A classified catalogue of the old Japanese and Chinese books of the Kuge collection in the Kodaira municipal library
Author	大沼, 晴暉(Onuma, Haruki)
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	2001
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.36 (2001.) ,p.447- 486
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	平澤五郎名誉教授追悼記念 資料紹介 目次のタイトル: 小平市立図書館蔵 久下文庫和漢書目録
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-20010000-0447

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

小平市立図書館 久下文庫和漢書目録

大沼晴暉

凡例

一、本書は、小平市立図書館久下文庫（久下司氏旧蔵書）のうち、和漢書を著録したものである。

一、分類は小平市図書館特別文庫分類表（日本十進分類法新訂八版に準拠し、一部改変）により、既に為されているのでそれを踏襲し、変更は目録上セットとなるべきもの等ごく一部にとどめた。上段には整理番号（函架番号代替）を附した。

一、書名に又とあるのは同版本を示し、誤解を生じる虞のない場合、中段の記載は省略して前と異なる箇所のみを記した。

一、書名は原則として本文巻頭によったが、国書においては序題・目録題が内題に準じる場合がある。また図絵類や明治以後の鉛印本・影印本には内題のないものも多い。それらは所謂るタイトル頁や表紙から書名をとったものがある。その書名の記されている部分や何処の書名であるかを（　）内に注記した場合もある。

一、中段には異名　テクスト　巻数　著編者　刊写年　刊写者　注記等を記した。校訂者・検閲者は省略した場合も多い。

一、下段には図書の大きさ　冊数を記した。

一、〔　〕は著録者の補記であることを示す。

一、本書は写真植字による印刷とした。字体は原則として現本通りであるが、製版上の制約から、新旧体の類似字・別体字等現本通りにできなかったものがある。

小平市立図書館 久下文庫和漢書目録

総記

8001 彙刻書目　初編　清顧脩　文政一年刊（〔官板〕）　中　一〇

8002 彙刻書目外集　松澤老泉　文政四年冬序刊（江戸　慶元堂和泉屋庄次郎）　中　六

8003 頭書増補訓蒙圖彙（かしらかきそうほきんもうづゐ）　（増補頭書訓蒙圖彙大成）二一巻目録一巻　中村惕齋編　下河邉拾水畫　寛政一年四月跋刊〔後印〕（京　丁子屋庄兵衛）　半　一〇

8004 新撰姓氏錄抄　（羣書類従巻四四八）三巻〔塙〕保己一編　刊　大　三

宗教・哲学

8005 神代正語（カミヨノマサコト）

三巻　本居〔宣長〕

寛政一年五月序刊（名古屋　東壁堂永樂屋東四郎）　大　三

8006 古史傳

存巻一―一一・一八―二二　平〔田〕篤胤撰　平〔田〕鐵胤・延胤續攷

刊（伊吹迺屋塾藏版）　大　一六

8007 古文孝經標註

（題簽）漢孔安國傳　太宰春臺（純）音〔片〕山兼山（世璠）標注

寛政六年一一月刊（〔江戸〕嵩山房小林新兵衛）覆明和九年一月序刊本　大　一

8008 翻刻 左繡

（題簽）春秋經傳集解三〇巻首一巻附左繡　宋林堯叟注　唐陸德明音　清馮李驊校（左）馮李驊・陸浩編　范允斌等評　馮張孫等校　貫名〔海屋〕(苞)補

嘉永七年二月刊〔修〕安政二年九月印　同三年一月序遞修（須靜堂藏板〈大坂　河内屋喜兵衛等三都一三肆〉）覆清康熙五九年一〇月序刊本　大　一六

8009 大學〔章句〕

（校正再刻大學）宋朱熹撰　後藤〔芝山〕點

刊　単辺有界九行一六字　大　一

8010 中庸〔章句〕

（再版改正）中庸）宋朱熹撰　後藤〔芝山〕點
刊（〔江戸〕千鍾房）単辺有界九行二〇字　大　一

8011 孟子〔集註〕

（新版訂正）孟子）一四巻（巻一・二欠　版心作四巻）宋朱熹撰〔林〕
道春點
享保一四年一月刊（京　北村四郎兵衛）　大　三

8012 孟子〔集註〕

存巻一・二　宋朱熹撰　後藤点ナラム
刊　単辺有界九行一五字　大　一

8013 禮記集說

（首書）禮記集註）三〇巻　元陳澔撰〔松永〕昌易首書
寛文四年九月刊（〔京〕野田庄右衛門）　大　一五

8014 老子經

二巻
刊　木活　大　一

8015 干支錄

葛城昇齋傳　瀧澤玄冲錄
萬延一年一二月刊〔明治〕印（東京　文淵堂淺倉屋久兵衛）絵
入　跋第二丁欠　半　一

8016 又

萬延一年一二月刊（江戸　播磨屋勝五郎）　大　一

8017 女重寶記（おんなちやうほうき）

存巻一　艸田寸木子
〔元祿五年五月〕刊　絵入　半　一

8018 神明馮談

二巻　多田義俊口授　植松次親録
寶暦五年一月刊（京　日野屋與八郎等三肆）　大　一

8019 齋院渉代考

前田夏蔭
文政七年九月写（自筆）朱墨書入本　夏蔭ヨリ岡本保孝ヘノ贈呈本　内題「對問一條」トアリシヲ抹消、保孝ヨリノ問ニ応エシモノカ　大　一

文政七年甲申九月重陽節前田夏蔭錄／呈岡本保孝君坐下

8020 一休和尚法語

〔一休宗純〕
寛文六年一月刊（山本九左衛門）覆明暦二年三月刊本　大　一

8021 一休骸骨（いつきうがいこつ）

一休宗純
元祿五年九月刊　絵入　覆延寶三年九月刊本カ　大　一

8022 一休水かゞみ

（題簽）
正保四年六月刊（大阪　土佐屋喜兵衛）覆寛永九年六月刊本
覆刻次ニ匡郭ヲ加ウ　大　一

歴史・地誌

8023 勾玉考

并附録　谷川士清
安永三年一〇月序刊　半　一

8024 古事記

三巻　太安萬侶
寛永二一年四月刊〔後印〕（京　前川茂右衛門）　大　三

8025 又

（訂正古訓古事記）三巻　太安萬侶撰　本居宣長訓　長瀬真幸校
享和三年一〇月刊（松坂　山口兵助・京　河南儀兵衛他二肆）
朱墨書入本　大　合一

8026 古事記

（釋日本紀）二八巻　卜部懐賢撰　卜部兼永點
刊〔後印〕（大阪　河内屋和助）明暦三年八月奥付流用本卜同版　大　一〇

8027 釋日本書紀

8028 日本後紀 （契冲校合本）二〇巻 偽題藤原緒嗣等奉勅編 大 一〇

写 阿波國文庫旧蔵

8029 日本紀文字錯乱備考 三巻 大關増業 半 一

文政五年立秋前二日跋刊（黒羽藩）

8030 日本書紀（ヤマトブミ） 三〇巻 舎人親王等奉勅編 大 一五

〔江戸初〕刊 覆慶長一五年五月跋古活字本

8031 日本書紀（ヤマトブミ） 三〇巻 舎人親王等奉勅編 大 一五

刊〔修〕〔後印〕（大阪 象牙屋治郎兵衛等三都七肆）覆同前刊本

8032 又 同一書ヲ八〇三一（五冊）八〇三二（一〇冊）ニ分ツ、今合ス

8033 残櫻記 伴信友 中 一

写

8034 難太平記 二巻 今川（源）貞世撰 力石忠一校 大 二

貞享三年六月刊（京 柳枝軒茨木多左衛門）

故實叢書

8035 安齋雜考　二巻　伊勢貞丈撰　今泉定介校　明治三三年一二月刊（東京　吉川半七）鉛印　半二

8037 冠帽圖會　松岡辰方編　丹治行義校　明治三二年一二月刊（東京　吉川半七）彩色刷　覆天保一一年六月跋刊本　折一

8039 近代女房裝束抄　〔明治〕刊　鉛印・銅版　半一

8049 神祇官圖・真言院圖・太政官圖・武徳殿圖（題簽）　一舗

8056 八省院圖　一舗

8061 豐樂院圖（題簽）　一舗

8050 大學寮圖（題簽）　一舗

8052 内裡圖（題簽）附中和院　一舗

8041 京城略圖

（題簽）

以上六点明治三四年九月刊（東京　弘文館）銅版彩色刷　一　舖

8042 尚古鎧色一覽

二卷　本間百里編　川﨑千虎校

明治三四年三月跋刊（東京　林縫之助）彩色刷　覆天保四年五月序刊本　半　二

8043 又　半　二

8044 又　半　二

8045 又　半　二

8048 織文圖會

（題簽）御幸部二編・狩衣・女官　本間百里編　小杉榲邨校

明治三五年一月刊（東京　林縫之助）彩色刷　覆文化一四年二月—文政八年六月跋刊本　半　四

8051 大内裏圖考證

三二卷首一卷并附錄・別錄御屏風之卷二卷　裏松光世撰　藤原廣前補　井野邊巖水等校　半　一四

明治三四年一一月—三五年五月刊（東京　吉川半七）鉛印

8053 中古 京師内外地圖

森謹齋（幸安）
明治三四年五月刊（東京　林縫之助）銅版彩色刷　一舗

8054 中昔京師地圖

森幸安
明治三四年二月刊（東京　林縫之助）銅版彩色刷　一舗

8055 女官裝束着用次第

〔明治〕刊　彩色刷　大一

8057 舞樂圖

左舞并右舞　高島千春（右）北爪有鄕
明治三八年八月刊（東京　吉川半七）彩色刷　左覆文政六年一一月序刊本　大二

8058 舞樂圖說

并補遺　大槻如電
明治三八年八月〈跋〉刊　鉛印　半一

8059 又

初篇并後篇　八幡百里編并圖（初）横川重孝画　小杉榲邨校
明治三五年三月刊（東京　林縫之助）彩色刷　覆文化一三年九月・一一月跋刊本　大二

8060 服色圖解

8062 輿車圖考

二巻　松平定信撰　今泉定介校
明治三三年五月刊（東京　吉川半七）鉛印
半　一

8063 同附圖

小杉榲邨校
明治三三年九月－一二月刊（東京　吉川半七）彩色刷
折　二

8064 鎧着用次第

〔伊勢〕貞丈
〔明治〕刊　彩色刷　鉛印
折　一

8065 禮服着用圖

小杉榲邨校
明治三六年九月刊（東京　吉川半七）彩色刷
大　一

8066 歴世服飾考

存巻二冠・帽・頭巾　田中尚房
〔明治〕刊　鉛印　銅版彩色刷
半　一

8036 飾馬考

存巻下　的場勝美
嘉永一年夏跋刊〔近印〕（京都　芸艸堂）彩色刷
半　一

8038 禁闕内外全圖

（題簽）
享保五年一月刊　天保八年二月修（〔京〕清水谷殿藏板）
一　舗

8040 軍用記

存巻三・五　伊勢貞丈撰　千賀春城補
刊（琢堂藏板）彩色刷

半　二

8046 装束圖式

二巻
元禄五年一〇月刊（京　出雲寺和泉掾）

半　二

8047 又

〔明治〕印（京都　文求書堂田中治兵衛）

半　二

8067 漢書評林

一〇〇巻首一巻　明凌稚隆編　桃林軒玄朴點
明暦四年一月跋刊（〔京〕松栢堂林和泉掾）覆明萬暦一一年春
序刊本

大　五〇

8068 諸葛孔明傳

田信齋（寛）注
文政一〇年閏六月跋刊（建標堂蔵板〈江戸　小林新兵衛等三都三肆〉）

大　一

8069 蕉門頭陀物かたり

（芭蕉翁頭陀物語）〔建部〕（吸露庵）涼袋
文政一三年写（蒼樹亭其蝶）

半　一

8070 前王廟陵記 二巻 松下見林 元禄一一年三月刊（大坂 毛利田庄太郎） 大 二

8071 新編武藏風土記稿 存巻一二九―一三一新座郡・巻二四六―二五五秩父郡 〔明治〕刊 鉛印 半 三

8072 姫島考 大倉重威 天保三年七月序刊（伊吹廼屋塾藏版）後印ナラム 大 一

8073 又 塾刻成書目別版 次印ナラム 大 一

8074 又 刻成書目ナシ 初印ナラム 大 一

政治・民族・社会科学

8075 職原鈔 （首書）職原鈔二巻并補遺後附 北畠親房撰 清原秀賢首書 寛文二年一月刊 大 五

8076 職原抄聞書 八巻（巻七欠） 林春齋（恕） 講 與志田幸菴録 延寶二年二月跋刊〔後印〕（京 錢屋儀兵衛） 大 七

8077 令義解 一〇巻 清原夏野等奉勅撰〔塙〕保己一校 寛政一二年一二月跋刊（和學講談所藏板〈京 吉田四郎右衛門〉） 大 一〇

8078 歴世女装考（れきせいぢょさうかう） 四巻 岩瀬百樹 弘化四年八月刊〔明治〕印（京〔都〕 津逮堂大谷仁兵衛） 大 四

8079 若狹國風俗 橘恒久 近写 半 一

8080 精校海國兵談 一〇巻 林子平撰 安積〔艮齋〕（貞）校 安政三年七月刊（江戸 松柳軒藏板〈江戸 寶集堂大和屋喜兵衛〉）図入 大 五

理学・医学・自然科学

8081 〔醫範提綱内象銅版圖〕 宇田川榛齋編 亞歐堂主人圖 文化三年春刊 折 一

8082 又

産業

80883 皇圀度制考

二巻附本朝度攷辨　平〔田〕篤胤撰　宮﨑大門等校
天保　年一月跋刊（伊吹迺屋塾藏版）姫島考八〇七二ト同書目

大　二　折　一

8084 草木育種

二巻　岩﨑灌園（常正）
文化一五年刊（江戸　千鍾房須原屋茂兵衛・玉山堂山城屋佐兵衛）図入

大　二

8085 國産考（こくさんかう）

（廣益國産考）八巻　大藏永常
天保一五年一月〈跋〉刊〔修〕〔後印〕（佐賀　紙屋惣右衛門・大坂　伊丹屋善兵衛他三都八肆）

半　八

8086 又

〔修〕〔後印〕（大阪　河内屋茂兵衛）此方ヤヤ刷リ早イカ

半　八

8087 又

巻三補配合綴
〔修〕〔後印〕（佐賀　紙屋惣右衛門・大坂　伊丹屋善兵衛他三都八肆）

半　七

8088 落花不語 〔加藤〕千浪書 安政六年三月写 折 一

8089 〔小野鵞堂手本〕 〔小野鵞堂〕書 写 折 三

8090 加藤千蔭書帖 〔題簽〕〔加藤〕千蔭書 寛政九年五月写 折 一

8091 賜研堂成瀬大域書蹟 〔挿入紙〕〔成瀬〕大域書 写 折 八

8092 赤壁賦・後赤壁賦・飲中八僊歌 金〔井〕之恭書 写 折 三

8093 墨談 〔米菴墨談〕三巻〔市河〕米菴撰 尾惟徳等校 文化九年一〇月刊 文政一〇年一一月序修 半 三

8094 同續編 （米菴墨談續編）三卷〔市河〕米菴撰〔市河恭齋〕（三千）録 半 三
文政一〇年一二月刊〔明治〕合印（東京　松山堂藤井利八）

8095 〔顔眞卿書〕 唐顔眞卿書 折 二
拓摺

8096 唐故特進尚書右僕射上柱國虞恭公温公碑 宋歐陽詢書 折 二
拓摺

8097 隨柱國左光禄大夫弘義明公皇甫府君之碑 宋歐陽詢書 折 一
拓摺　井々主人珍藏トアレド竹添氏ニハ非ザルベシ

8098 大唐故米夫人墓誌銘 唐安忠臣書 折 一
拓摺

8099 大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文 唐顔真卿書 折 一
拓摺

8100 馮公郁亭碑誌

（題簽）清王壽彭書
拓摺　清故武功將軍副將銜補用參將馮公郁亭墓道碑銘（民國一三年建）・清故武功將軍先考馮公暨先妣游太夫人新阡表（長男基道撰　書者無記名）・清故武功將軍馮公墓志銘（劉春霖書）　折　二

8101 又

（題簽）樂器之部〔松平定信〕
近刊　石印　半　一

8102 集古十種

（題簽）
近刊　仿瑳珻本　大　一　（綴葉裝）

8103 白楽天

（好古集覧）革究圖考　池田義信
〔弘化二年三月序〕刊〔修〕彩色刷　發市本　特大　一　（折擬包背裝）

8104 革究圖考（かくせんづかう）

五巻　村井昌弘
文化一〇年刊（江戸　千鍾房須原屋茂兵衛・青藜閣須原屋伊八）図入　半　五

8105 單騎要畧製作辨

言語

8106 康熙字典

一二集并總目・檢字・辨似・字母切韻要法（等韻）・備考・補遺　清凌紹雯等奉勅撰
〔清〕刊　覆清康熙五五年閏三月序刊本　唐大　四〇

8107 正字通

一二集并總目・十二字頭（満漢）・字彙舊本首巻　清張自烈・廖文英（十）廖綸璣（字）明梅膺祚
〔清〕刊　唐大　三二

8108 かさし抄

三巻　不盡谷〔成章〕撰　吉川彦冨・山口高端録
明和四年二月序刊　半　三

8109 初心假名遣

元禄四年八月刊（京　山岡市兵衛）縣居・藤井百樹旧蔵　小　一

文学

8110 唐ものかたり

賀茂季鷹・橘千蔭校
文化六年三月刊（京　明學堂惠比須屋市右衛門）横井千秋旧蔵　大　二

8111 伊勢物語 〔江戸初〕写 文久二年八月製本 大 一

8112 伊勢物語 （題簽） 〔江戸前期〕写 斐紙 大 一 （綴葉装）

8113 闕疑抄 五巻〔細川〕幽齋（玄旨） 〔寛永一九年一月〕刊 承應二年一二月印（瀧庄三良） 覆寛永一一年四月刊本 覆刻次ニ匡郭ヲ加ウ 大 二

8114 伊勢物語拾穂抄 五巻〔北村季吟〕 刊 延寶八年八月印（藤野九郎兵衛） 大 一

8115 〔うつほ物語〕 俊蔭巻 万治三年八月刊（京 林和泉掾）絵入 九二丁 大 一

8116 源氏物語新釈 存柏木〔賀茂眞淵〕 写 大 一

8117 〔舌切雀〕 刊 表紙欠 小 一

8118 たけとり物語 （絵入竹とり物語）二巻 〔正保三年〕刊（寛文三年八月修）〔後印〕（〔京〕茨城多左衛門） 大 二

元禄五年一一月印本ノ後印

8119 又 存巻上 大 一

此方早印ナラム

8120 竹取物かたり抄 （題簽）小山伯鳳（儀）撰 入江昌喜補 大 二

天明四年四月刊（大阪 柳原喜兵衛等三都三肆）

8121 大和物語之抄 六巻 北村〔季吟〕（拾穂） 大 六

承應二年五月刊（〔京〕中野小左衛門）

8122 宇治拾遺物語（うちしういものかたり） 一五巻惣目録（そうもくろく）一巻 半 一六

萬治二年一〇月刊（京 林和泉掾）

8123 今昔物語 （考訂今昔物語）倭部三〇巻 源隆國撰 井澤蟠龍（長秀）校 半 三〇

享保五年五月序—同一八年一月刊（京 柳枝軒茨城多左衛門）

絵入

8124 撰集抄 八巻 写 大一

8125 承久記 二巻 〔江戸初〕刊 覆古活字本 大二

8126 平家物語 一二巻并灌頂巻 写 大一二

8127 明徳記 三巻 寛永九年一二月刊 覆古活字本 大一

8128 釈迦の本地 二巻 〔寛永二〇年九月〕刊 慶安一年一一月印 大二

8129 すみよし物語 〔江戸初〕刊 寛永九年一二月印（〔京〕中野道也） 大一

8130 天狗大裏物語 二巻 安政六年二月写 大一

8131 佛鬼軍

伝一休〔宗純〕撰并画
文政六年八月跋刊（江戸　萬笈堂英平吉）覆元禄一〇年一月刊本　大　一

8132 ぶんしやうのさうし

二巻
〔江戸前期〕刊（京　風月庄左衛門）絵入　覆明暦四年九月刊本　大　二

8133 ぶんしやう物語

存巻上
〔寛文一一年一月〕刊　絵入　大　一

8134 因果物語

（新刻因果物語）三巻〔鈴木〕正三撰　釈義雲・雲歩録
寛文一年八月序刊　刊記削去カ　水谷不倒旧蔵　大　一

8135 うすゆき物語

二巻（有欠）
〔延宝六年三月〕刊〔修〕（大坂　大野木市兵衛・江戸　須原茂兵衛）絵入　半　一

8136 可笑記

五巻〔如儡子〕
萬治二年一月刊（京　山本五兵衛）絵入　半　五

8137 百八町記

五巻　如儡子（にょらいし）
承應四年秋序刊　寛文四年五月印本ト同版　大　五

8138 尤之双紙（もつとものさうし）

二巻〔齋藤德元〕
寛永一一年六月刊（〔京〕中野道伴）

大 二

8139 藥師通夜物語

（題簽）
寛永二〇年二月刊（大黒）

大 一

8140 世間子息氣質（せけんむすこかたぎ）

五巻〔江島〕其磧
正徳五年炁序刊〔後印〕（〔大坂〕ひしや治兵衛）絵入

大 五

8141 浮世道中膝栗毛（うきよたうちうひさくりげ）

（東海道中膝栗毛）發端一巻初篇一巻後編二巻三・四編各二巻五編二巻并追加六・七編各二巻八編三巻　十返舎一九
享和二年一月序―文化一一年一月序刊〔修〕〔明治〕印（珎々堂）絵入　物集家旧蔵

中 一八

8142 手段誥物娼妓絹籠（てくだつめものしやうききぬふるひ）

山東京傳

小 一

8143 春色梅兒與美（しゆんしよくうめこよみ）

寛政三年鮮凍日序刊　絵入　覆刻

一二巻　為永春水（狂訓亭主人）撰　柳川重信・重山画
天保三年一月―四年一月刊（江戸　永壽堂西村與八・文永堂大嶌屋傳右エ門・巻七以下文永堂単独刊カ）口絵彩色刷

中 四

8144 鸚鵡返文武二道（あふむがへしぶんぶのふたみち）

（題簽）三巻存巻上〔戀川〕春町撰〔北尾政美〕画　中　一

〔寛政一年〕刊（江戸　つたや）

8146 文武二道万石通（ぶんぶにどうまんごくどをし）

（題簽）三巻（巻上・巻下末欠）〔朋誠堂喜三二〕撰〔喜多川行磨〕画　中　二

〔天明八年〕刊（江戸　つたや）

8145 はちかつき

（版心）存巻上・中　中　二

刊

8147 繪本単嫁入（ゑほんねづみのよめいり）

（題簽）　小　一

文化一年刊　表紙彩色刷

8148 しらぬひものかたり

（表紙）初－六〇編各二巻（巻八下欠）柳下亭種員（三八以下）　中　五一

柳亭種彦撰　香蝶樓豊國（九編以下）楳蝶樓國貞（三八以下）　中　合一七

惠齋芳幾畫

嘉永二年－明治三年一月序刊（江戸　菊壽堂廣岡屋幸助等）表紙口絵等彩色刷　艶墨・薄墨刷　一五編ヨリ柳下堂合梓、二二編ヨリ同肆単独刊、二八編ヨリ廣岡屋ノ刊行カ　初編元治一年印、二七以下後印本

8149 **比奈乃都大内譚**

六編各二巻　柳亭種彦（笠亭仙果）撰　一勇齋國芳・孟齋芳虎畫　中　六

安政六年―元治一年六月序刊（江戸　錦昇堂笑壽屋庄七）口絵彩色刷　艶墨刷

8150 細川幽齋 **詠歌大概抄**

六巻〔三條西実枝〕〔三光院内府〕講　細川幽齋（玄旨）録　大　一

寛文八年一〇月刊（〔京〕風月庄左衛門）

8151 **悦目抄**

（版心）〔藤原〕基俊　大　一

正保三年五月刊

8152 **奥儀抄**

（清輔奥儀抄）三巻〔藤原〕清輔　大　八

慶安五年五月刊（〔京〕上村次郎右衛門）

8153 **懐紙夜鶴抄・能書方相傳條々**

（傳書懐紙式）源尹祥　大　一

寛政七年一月写（〔加藤〕千蔭）摸天明八年二月源尹祥自筆本朱墨両筆

8154 **歌林良材集**

二巻　一条〔兼良〕（成恩寺殿・一条禪閤）　大　二

〔江戸初〕刊　寛永二〇年五月修（匡郭加刻）・慶安四年八月印本ト同版

8155 御教訓十五箇條

文政九年夏写（本居大平）　一

8156 袖中抄

二〇巻　顯昭
〔慶安四年七月〕刊〔後印〕（京　奎文舘瀬尾源兵衛）　大　二〇

8157 井蛙抄（せいあ）

六巻〔頓阿〕
慶安一年九月刊〔後印〕書肆名削去カ　大　二

8158 千鳥のあと

附尾　中臣親満
文政二年一〇月跋刊（江戸　金花堂須原屋佐助）　中　一

8159 袋草紙

（清輔袋草紙）四巻〔藤原〕清輔
貞享二年二月刊（京　中川茂兵衛・中川弥兵衛）楓園旧蔵　大　四

8160 無名抄

（長明無名抄）二巻　鴨長明
〔江戸初〕刊〔後印〕（大坂　鹿嶌献可堂塩屋忠兵衛）　大　二

8161 八雲抄

六巻（巻三下・巻四欠）〔順徳院〕
写（松波氏等）毛利家旧蔵　大　二

8162 新撰萬葉集

（首書□撰菅家萬葉集）二巻
〔元禄九年三月〕刊　同一二年三月〔修〕（大坂　保武多伊右衛門）　松平家旧蔵

大　二

8163 萬葉集略解

二〇巻目録二巻　橘千蔭
〔文化九年三月〕刊（目）天保一四年秋序刊　安政三年九月修〔明治〕印（名古屋　永樂屋東四郎）

大　三一

8164 萬葉用字格

春登
文化一五年二月刊〔後印〕（江戸　青雲堂英文藏）

大　一

8165 古今集聞書

（題簽）并節分秘說・〔易占〕等雜抄
写

半　一

8166 古今集百首

加茂〔眞淵〕編
文化九年六月写（橘千年）

大　一

8167 古今和歌集

二〇巻　紀貫之等奉勅撰
〔江戸前期〕写　斐紙　版本系

大　一
（綴葉装）

8168 古今和歌集 二〇巻 紀貫之等奉勅撰 〔南北朝前期〕写 貞應二年七月元奥書 水原通村識語 斐紙 無礙庵（今泉雄作）旧蔵 大 一 （綴葉装）

8169 古今和歌集 二〇巻 紀貫之等奉勅撰 〔室町末－江戸初〕写 元奥書同前 大 一 （綴葉装）

8170 古今和歌集 二〇巻 紀貫之等奉勅撰 〔室町〕写 元奥書同前・又元應一年九月釋頓阿奥書 斐紙 大 一 （綴葉装）

8171 古今和歌集 存巻一二〔紀貫之〕等奉勅撰 〔南北朝〕写 一 巻

8172 古今和歌集 二〇巻 紀貫之等奉勅撰 〔江戸初〕写 貞應二年七月元奥書 色変り料紙（雲紙・金銀泥芦手絵等）斐紙 大 一 （綴葉装）

8173 古今和歌集 二〇巻 〔紀貫之〕等奉勅撰 写 嘉禄二年四月元奥書・又建保二年秋定家奥書 漢文序ナシ 斐紙 枡 二 （綴葉装）

8174 古今和歌集

二〇巻　紀貫之等奉勅撰
〔江戸初〕刊　貞應二年七月奥書本　大　二

8175 古今和歌集聞書

序・春―冬
写　文亀二年三月宗祇元奥書　末ニ「文亀二壬戌ヨリ慶長二丁酉マテ／百年ニヤ」トアリ　大　一

8176 古今和歌六帖

六巻
寛文九年春刊〔修〕（〔京〕吉田四郎右衛門）朱書入本　大　六

8177 日本紀和歌畧註

（厚顔抄）二巻古事記和歌略註一巻　釈契冲撰　加茂真淵標注
写（寄合書）阿波國文庫旧蔵　大　五

8178 宣長自撰歌集

（表紙）〔本居〕宣長
写　中　一（擬包背装）

8179 小野小町家集

（小町家集）二巻　小野小町
〔江戸前期〕刊　絵入　半　二

8180 嘉喜門院御集

并源孝範集・常縁集・桂林集　嘉喜門院・源孝範・〔東〕常縁・源直朝（桂）〔三條西〕實技編
近写　半　一

8181 源三位頼政家集

二巻　源頼政
寛文一年一二月刊（〔京〕林和泉掾）　半　二

8182 散木奇歌集

一〇巻附〔散木集注〕（首欠）〔源俊頼〕
写　契沖朱書・蘆菴青書移写本　西荘文庫（小津桂窓）旧蔵　大　三

8183 草菴和歌集

一〇巻〔頓阿〕
〔承應二年閏六月〕刊　寛文四年八月印（京　武村三良兵衛）　大　二

8184 續草菴和歌集

五巻〔頓阿〕（尭孝）
同前合印　大　一

8185 草根部類

春二巻　松月庵正徹
〔江戸初〕写　斐紙　一部墨色濃淡・筆ノ太細ヲ改ム　中　二

8186 戀（ママ）十首哥合

七五番　建仁二年九月十三夜水無瀬殿　釋阿判
〔江戸前期〕写　十人十五題　色変り料紙　中　一

8187 百人一首師説抄　也足子素然編　大　一
〔江戸前期〕写　朱書入本　斐紙　幽齋抄　押小路家旧蔵

8188 〔桜かりの歌〕　是方・壽冨・春忠　一　巻
写

8189 曠野集　八巻員外一巻〔山本〕荷兮編　半　三
元禄二年三月序刊〔後印〕(名古屋　永樂屋東四郎)

8190 ばせをの句集　(題簽)〔松尾〕ばせを　半　一
天保四年八月写(藤岡氏)

8191 〔はるの日〕　并冬の日(版心)・ひさこ〔山本〕荷兮編(ひ)〔濱田〕珎碩編　半　合一
貞享三年八月跋刊(冬)刊(ひ)元禄三年六月序刊〔修〕〔合印〕(京　井筒屋庄兵衛)俳諧七部集之一　版心改ム

8192 ひさこ　(題簽)〔濱田〕珎碩編　半　一
元禄三年六月序刊(京　井筒屋庄兵衛)

8193 虚栗集　晋其角編　半　二
天和三年五月跋刊

8194 續虛栗集

〔宝井〕其角編
貞享四年一一月刊〔後印〕(京　西村市郎右衛門)前者ト合印
半　二

8195 万葉句合

金龍散人苔翁等編
刊　収月・人塵・鶴女・竹丈等
半　合一

8196 奉納万句合

惣連七千余唫　収月
享和二年七月―文化一一年六月刊　願主収月・催主文巣　七千五百余唫
半　合一

8197 催馬樂註秘抄

(梁塵愚案鈔)　并神樂註秘抄〔一條兼良〕
写　朱校合書入本　康正一年九月元奥書
半　一

8198 和漢朗詠集

二巻〔藤原公任〕
写　色変り行成紙
大　一
(綴葉装)

8199 倭漢朗詠集

二巻存巻上〔藤原公任〕
写(半兵衛)柴野栗山旧蔵
折　一

8200 國姓爺合戦

五段　近松門左衛門
刊(京　海老屋伊三郎)
半　一

8201 桂林漫録

二巻　桂川中良
寛政一二年五月刊（〔江戸〕桂林舎蔵版）絵入

大　二

8202 興風集

（扉）
刊（松下郵塾蔵版）

中　一

8203 還魂紙料

二巻　柳亭種彦編
〔文政九年一二月〕刊〔後印〕（江戸　岡田屋嘉七等三都七肆）
絵入

大　二

8204 清少納言枕草帋

（題簽）
慶安二年四月刊（京　澤田庄左衛門）

大　七

8205 徒然草諸抄大成（ツレ〴〵グサショセウタイセイ）

存一二巻　淺香山井
〔貞享五年五月〕刊

大　三

8206 徒然草文段抄

七巻〔北村〕季吟
寛文七年一二月刊〔後印〕書肆名削去カ

大　七

8207 いさよひの日記

あふつはう
万治二年六月刊（京　林和泉）朱書入本

大　二

8208 十六夜日記殘月鈔

（題簽）高田與清（三）北條時鄰　大　三
文政七年二月刊（京　出雲寺文次郎・江戸　前川六左衛門等二都四肆）

8209 土佐につ記

〔紀貫之〕　大　一
〔寛永二〇年一月〕刊　萬治三年一月印（京　秋田屋平左衛門）

8210 土佐日記講録

（題簽）堀茂足　大　一
安政三年一・二月写（自筆）

8211 土佐日記抄

存巻下〔北村〕（拾穗軒）季吟　大　一
寛文一年八月刊（〔京〕中野小左衛門）

8212 土佐日記〔注〕

近写　大　一　（大和綴）

8213 土佐日記地理辨

附地圖　鹿持雅澄撰　松本弘蔭原図　松川半山画　大　一
文久三年八月刊（大阪　河内屋吉兵衛等三都五肆）

8214 唐詩選畫本

（題簽）五言絶句五巻存巻一・二・五　石峰道人（橘貫）　半　三
文化二年刊（江戸　嵩山房小林新兵衛）覆天明八年一二月序刊本

8215 同

七言絶句五巻　芙蓉山人
寛政二年一月刊（江戸　嵩山房小林新兵衛）

半　五

8216 同

五言律・五言排律・七言律共五巻存巻三・五
寛政三年五月刊（同前）

半　二

8217 同

七言絶句續編五巻　紅翠齋主人
寛政五年刊（同前）

半　五

8218 同

五言古・七言古共五巻存巻一・二・五　高（井）蘭山撰　翠溪先生畫
天保三年五月刊（同前）

半　三

8219 同

七言律五巻存巻四・五
天保七年九月刊（同前）

半　二

8220 唐詩選國字解

七巻（巻七欠）服（部）南郭（元喬）撰　林元圭録
文化（一一年六月）刊（江戸　嵩山房）覆寛政三年六月刊本

半　三

8221 唐詩選師傳講釋

（唐詩選講釋）（改正本）七巻　千葉芸閣（玄之）講　小林高英録
文化一〇年四月刊（江戸　嵩山房小林新兵衛）

半　七

8222 唐詩選掌故 七巻（巻七欠）附詩人世次爵里〔千〕葉芸閣（玄之） 半 三
〔寛政五年一一月〕刊（江戸　嵩山房）覆〔明和一年一二月序〕
刊〔同五年一一月修〕本　前田家尊経閣旧蔵

8223 瓢兮歌 〔藤田〕東湖（彪） 折 一
写（自筆）

8224 幼學詩韻 成徳隣・檜長裕編 半 一
文政四年一月刊（江戸　千鍾房須原屋茂兵衛・青藜閣須原屋伊
八）覆享和二年一月刊本

8226 同續編 附時令提要　林龔・大前彬編 半 一
天保五年刊（同前）覆文化一一年三月刊本

8225 同三編 附幼學詩話　小里永渓（景儔）・吉田靈鳳（清）編（附）東條
琴臺（耕） 半 一
安政五年刊（同前）覆天保一三年一月刊本

あとがき

小平市立図書館久下文庫は、市にお棲まいの久下司氏の旧蔵書である。氏は小平市に工場のあった化粧品会社黒龍堂の研究員をしておられたこともある。本文庫は生存中市に寄託、昭和五十七年三月廿五日から卅日迄「江戸期の和書展」と題し喜平図書館で展観、展示目録が作られ、翌る五十八年から五十九年にかけ「久下文庫蔵書目録Ⅰ－Ⅲ」が公刊されている。Ⅰには明治以降刊行の洋装本三三七〇冊、雑誌二三八タイトル三〇二八冊が、Ⅱにはその和装本九六六冊、雑誌一六タイトル五七冊が、Ⅲは江戸期以前の図書とその覆製本を主としたる二二六点九三一冊が著録されている。このように目録は公刊されていたものの個人蔵書であり閲覧は制限されていたが、平成七年十一月廿一日久下司氏が亡くなり、御遺族の英断により蔵書は寄託から寄贈にきりかえられた。前記目録は巻頭に主要書の写真も備わり労作であるが、いかんせん刷部数が少く世に知られることと稀であった。また目録著録に避けられぬ幾つかの難が見られる。かつて展示目録を読み、展観書と見較べ幾つか気づいていたこともあり、図書館協議会の委員を力めいささか市図書館と関っている身として、せめて目録Ⅲ所収分だけでも再査したいとの思いを抱いていた。展観書のみならずその全貌も知りたかった。山田勇館長はじめ蛭田廣一氏等古文書担当の方々の御協力を得、再録の機を与えて頂いたことはまことに幸であった。

久下司氏、明治卅五年埼玉狭山生れ、法政大学文学部史学科、同大学院で東亜考古学を専攻、修了後昭和十二年文部省より中華民国に派遣され、後文部省重要美術品調査嘱託、東京国立博物館嘱託、黒龍堂研究所員、日本大学講師、二松学舎大学教授を歴任された。大陸と日本を繋けた染色化粧文化の研究にその本領はあり、作物に「綏遠文化遺烬図録」「武蔵野の紫草」「武蔵国秩父郡和銅の遺址」「大陸文化より見たる古都大和の史跡」「日本化粧史考」「大陸文化より見たる日本上代文化発達史の研究」「ものと人間の文化史・化粧」「国文学上より見たる詳説日本化粧文化史の研究」「万葉集莫囂円隣歌の試読と紫草の研究」などが存する。本目録所収分は戦前波多野巖松堂からの購入が多い。田中敬氏の名著「粘葉考」は版元の巖松堂波多野重太郎氏が有力な顧客に贈呈したものだが、久下氏も又一本を呈されている。以てその昵懇ぶりが窺われよう。拓本類は恐く現地で

調達されたものが多かろう。但し文庫には洋装本を除けば漢籍唐本は殆ど存しない。

本文庫の特徴を挙げれば、第一に古今和歌集の充実である。和歌集の蒐集家は多いが、個人で現在これだけの古今集コレクションを為すのは容易であるまい。室町以前に溯る古写本が存するのも貴重である。斯道文庫では研究事業計画の根幹の一である古今和歌集諸本とその注釈書の調査が、川上新一郎・佐々木孝浩二氏を中心に文部省科学研究費の補助を得、進められており、本目所収の主要書についても調査と副本作成とが成されている。本目も両氏の協力を得て行われているが、写本の時代判定等に小異の存するものがある。しかしそれらは個々人の体系であり、感覚であり、云わば生理である。これらは一見非科学的に見えるが、本著録者は生理こそ最も科学的なものだという立場をとるので、夫々の感覚を生かし無理に改めることをしなかった。本目記載の責任は最終著録者である大沼にある。古今集を始めとする国文学関連の書籍については専家の詳細な紹介が為されるであろうから、それらを俟ちたい。また漢籍は拓本を除けば少いながら、国書は各ジャンルの見本となる名物、有名作品をかなり広く蒐めている。

終りに久下文庫本から知られる興味深い書誌学上の現象を二つほど拾っておこう。どちらも江戸初期の出版に顕われる特徴である。

一は無匡郭から有匡郭へという現象で、本目8022一休水かゞみ・8113嗣疑抄・8154歌林良材集などに見られる。前二者は何れも覆刻次に匡郭を加え、後者は御丁寧にも寛永二〇年の増刷次に匡郭を加刻している。江戸後期であれば傷みの激しい匡郭を取除いた修印本が普通であるのに、何故こうした現象が起きるのか。恐く国書の出版は漢籍と異り、元の写本を摸刻することから始っているのだろう。漢籍は木簡・竹簡の一片が界となり、それを踏襲した刊経や経書も有界でこそなくとも匡郭のない刊本は珍しい。従って写本さえもが墨で引いた烏糸欄という匡郭を持つのが普通である。日本では特に中世の粘葉装の刊本は板木構成の難しさから匡郭のないものが多かった。古活字本も仮名のものには無匡郭の出版が珍しくない。こうして始め無匡郭で出版されたが、版本が多くなり和刻漢籍等の出版が増えると版式というものが定着し、段々と刊本は匡郭のあるものという意識が定着していったのではないか。云わば日本の刊本は写本を追い、中国の写本は刊本を追うのだということが、ここに垣間見られ

るように思う。

同様に江戸初期の刊本には始め無刊記で出版され、後刷次に印行者が加刻される場合が多い。本目録で云えば8027釈日本紀・8076職原抄聞書・8114伊勢物語拾穂抄・8129すみよし物語・8137百八町記・8154歌林良材集・8160無名抄などがその例で、これも江戸中・後期であれば、逆に始めから刊行者が刻され、求板後印次に削去されたり、入木で直されたりするのが普通である。江戸初期は未だ出版業が業態として確立せず、中期の三都における本屋仲間の成立以後、漸く見返や奥付が一般化する。江戸初前期の刊本は見返や奥付はなく、本屋の標と云えば刊記だけである。初前期の刊本に見返や奥付がついている場合、殆どが中期以降の後刷である。一概に無匡郭・無刊記と云っても時代による意味の違いが見られる。書物の大いさも又同じで、江戸後期の大本は江戸初期の半紙本を一廻り大きくしただけに過ぎない。